

# 2022年日本平和大会実行委員会ニュースno.3



発行:2022年日本平和大会実行委員会(事務局=日本平和委員会内) 2022/8/19

Tel 03(3451)6377 Fax 03(3451)6277 Email:info@j-peace.org

## 11/26-27日本平和大会 オンラインのみで開催

2022年日本平和大会の第3回実行委員会が18日、オンラインで開催され、13団体16人が参加しました。



大会まで3カ月余となり、今回の実行委員会は開催形態を確定する場でもありました。実行委員会では、新型コロナの感染状況や夏の諸行事の実施状況をふまえ、今年もオンラインのみとすることを確認しました。名称は「**2022年日本平和大会・オンライン**」と変えます。大会の日程は11月26-27日の2日間の枠は維持し、1日目午前・開会集会、同午後・分科会、2日目午前・閉会集会という日程はそのままとなります。なお、分科会はオンラインの態勢上、昨年同様2つに絞ります。

実行委員会では、開会集会、閉会集会のプログラム、分科会の内容などについても検討し、沖縄県知事選挙直後にはチラシが出せるように具体化をつめていきます。

### 参加目標、参加登録費を改定

参加目標は、リアル参加 400 人、視聴会 500 カ所 2,500 人でしたが、すべてオンラインということで、**視聴会 500 カ所 3,000 人**に変更しました。

参加費については、中央実行委員会としては昨年度同様に視聴会での個人参加費は求めず、**開会・分科会・閉会それぞれで、視聴会 1 件 1,000 円、個人視聴 1 人 500 円**とします。なお参加登録は、都道府県実行委員会を通じて行っていただくことを原則とし、都道府県実行委員会は視聴会 1 件当たり 700 円、個人視聴 1 人当たり 350 円を中央実行委員会に納入して大会を支えていただきます。

## 沖縄県知事選を勝利して大会を迎えよう

年末までに防衛3文書の改訂がねらわれ、来年度予算で大軍拡のスタートを許すのか、この秋のたたかいが大変重要となっています。台湾をめぐる米中対立が激化し、中国の弾道ミサイルが日本の排他的経済水域にも打ち込まれ、戦争を起せば日本も戦渦に巻き込まれることが示されました。

当面の最大の政治的たたかいは沖縄県知事選挙です。米中対立の最前線とされる南西諸島・沖縄を再び戦場にさせない、平和の砦にすることは、日本全体の軍拡・改憲政治を押しとどめるうえでも極めて重要です。何としても玉城知事の再選を勝ち取らなければなりません。

自公候補は、今回は辺野古埋め立て推進を明確にかかげています。もう1人の候補は、現在の辺



野古埋め立てによる基地強化は容認し、大浦湾は中止、馬毛島で海兵隊の訓練、普天間は軍民共用などがかかげ、玉城知事を支持する無党派層を切り崩し、自公候補を支援しようとするものです。厳しいたたかいですが、コロナの影響もあり全国からの現地支援が不足しています。電話がけ、募金も強め何としても勝利させましょう。大会パンフを活用し学習もすすめ、知事選支援の輪を広げましょう。

▼次回実行委員会 9月29日(水) 10:30~オンラインにて